

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 3年 11月 3日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490201195		
法人名	株式会社 ニックス		
事業所名	グループホーム 桃太郎		
所在地	広島市西区小河内町一丁目8-1 (電話) 082-235-2940		
自己評価作成日	令和3年10月19日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3490201195-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3490201195-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和3年10月28日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

ご利用者様に心穏やかに暮らしてもらうため、家庭に出来るだけ近い環境で、ご利用者の方々が安心した生活を送れるよう、家族の気持ちで介護する事を念頭にしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

コロナ禍で施設内でできるボール体操、嚙下体操、ゲーム、折紙、大正琴などレクリエーションを充実させる努力をし利用者的心と体のケアの工夫をしている。面会ができない時期には行事や日々の暮らしの写真を個人アルバムとして作成し毎月送付し、家族に喜ばれている。排泄面では、いかに快適に、尊厳ある暮らしを送れるかを追求、工夫の結果、布パンツの利用者も多い。おむつ使用の軽減取り組みで家族のおむつ代負担を減らす取り組みもしている。排泄、食事、入浴面で、一人ひとりの利用者に適した対応を心掛け、自分でできることは介助しすぎないように見守り支援をしている。利用者の状態に合わせた入浴設備や壁面の富士山などで入浴を楽しんでもらう努力をしている。

自己評価	外部評価	項目( 1F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	理念に基づいて入居者様の尊厳を大切に安心した心地よい暮らしができるように努めている。ただ、コロナ禍において入居者様の外出機会はほとんどなく地域密着型サービスとしては役割りは果たされていない。	経営理念である「相手本位の心」や事業所目標を職員の目につきやすい休憩室やロッカールーム、玄関に掲示して、原点に立ち返って質の良いサービスの実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	コロナ禍の影響もあり入居者と家人との面会すらほとんどできていない状況が続いている。なので地域との交流は実施できていない。	地域の住民が時々見学に来られたり、認知症や介護の相談を受けたり、実際に入所する流れを聞きに訪問されることもあり、交流の機会になっている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の方々を対象とした認知症や介護の相談窓口はあっても、地域の方々には周知されているとは言えない。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	コロナ禍の影響で運営推進会議が開かれていないが、開催された場合は報告や話し合いを行いサービスの向上に繋がりたい。	運営推進会議では、利用者の家族から口腔ケアの内容を知りたいと意見があり、後日歯科医師に研修をしてもらう取組みをしている。ヒヤリハット・転倒に関しても件数報告だけではなく、状況の検証、防止策や工夫、改善点も報告する取組みを行っている。	
5	4	○市町との連携  市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営推進会議が開催されていないこともあり市の担当者様と日ごろから連絡は取り合っていない。ただ、問題があれば相談をし、問題の解決に努める。	コロナ禍でワクチン接種の疑問・質問など市にメールで連絡を取り、回答をもらっている。地域包括支援センターから家族の認知症対応研修の依頼があり、協力関係を築く取組みをしている。	

自己評価	外部評価	項目( 1F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	定期的に身体拘束についての研修や勉強会を行っている。身体拘束をすることによって、高齢者にどのような弊害があるか理解したうえで身体拘束を行わないケアに努めており、毎月のミーティングで車イスやセンサーマットの使用が適切であるのかも検討している。	当事業所や他事業所の事例で勉強会を行い、身体拘束をしない具体的な行為を理解するようにしている。車イスやセンサーマットの使用が適切かどうか、各階のユニット会議で検討し、全体会議でさらにみんなで協議して、必要性を勘案し、予防方法をケアに取り入れている。	
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	定期的に勉強会や研修を行っている。高齢者虐待に関する研修を通じて、普段から職員が不適切なケアを行わないよう注意を促し、虐待防止に努めている。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	利用者様の生活の質の向上を目指し、研修等を通じて権利擁護についての知識と理解を深めそれらを活用できるよう利用者様と関わっている。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約の際等のご利用者様やご家族様に対して十分な説明を行っており、途中で疑問に思われた事や意見等に対して誠意を持ってお答えし対応している。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者様や家族様からのご意見はカンファレンスを通じて職員間で共有、議論し可能な限り要望に応じられるよう努めている。	家族からは、服やシーツを毎日洗濯してほしい、口腔ケア、認知症について説明してほしいなどの要望があり、できる限り対応している。利用者の様子を伝える際に家族の意見を聴くようにしている。利用者から肉じゃがや焼肉、ラーメンが食べたい要望があれば水曜日の自由食の日に応えている。	

自己評価	外部評価	項目( 1F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月の全体ミーティングや各階のユニットミーティングで職員の意見や提案を聞いている。入居者様の思考も考慮して解決や実行に向けての話し合いを行っている。	医療の記録を個別記載して情報の共有を図る提案を受け、管理者はすぐ実践して利用者のケアの向上に反映させている。遅出の勤務時間を30分早く、早出を30分早くする勤務時間の変更提案によって業務がスムーズに運べるようになり利用者にとってのケアの良好な対応に繋がっている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員の意見や、思いを言いやすい環境に努めている。問題が起きた場合等には早急に対応できるように努めている。又、直接、社長に思いが届くように目安箱を設置しており、職場環境の向上への対応を行っている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	それぞれの能力に合わせた研修への参加や事業所での勉強会を適時行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	同業者との交流する機会は地域包括主催の勉強会に参加するなどして交流を行っている。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	グループホームでの生活に一日でも早く慣れていただけるよう、積極的に声掛けを行い、お互いの関係づくりを築きながら馴染みの関係の構築に努めている。		

自己評価	外部評価	項目( 1F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>ご家族様からの要望にはしっかり耳を傾け、できる限り、ニーズにお応えできるように努めている。職員間でも問題や情報を共有し、ケアを行っている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>事前のアセスメントを基にご利用者様の行動を考慮して、必要な対応を行うように努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>自立支援という介護の基本を念頭に、利用者様が出来る事は可能な限りご自分でやって頂くように心掛けて生活支援を行っている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>コロナ禍において、ご家族へは施設内への立ち入りを、現状お断りしています。ただ、家族への連絡は密に行い、入居者様の支援に努めている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>ご家族様と情報を共有しながら、馴染みの人や場所への支援をお願いし、出来る範囲で協力をしている。</p>	<p>帰宅を希望する利用者には家族の協力を得て自宅に帰り、近隣、親戚馴染みの人と交流をし、関係を継続させている。コロナ禍の面会は窓越しで行っていたが、少し落ち着いた際は面会を再開し、状況に応じた対応を行い関係が途切れないよう支援に努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目( 1F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者同士の相性も考慮した上で席の位置を考えている。また、アクティビティ等で誰か一人を孤立しないようにも配慮をしており、それぞれがグループホームでの生活を楽しんでいただけるように努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	現時点では退去後にご相談や支援は行っていません。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	自己選択、自己決定という、ご本人様の意思を尊重し、職員本位の支援を行わないよう配慮している。ご本人様のレベルが低下した場合であれば、その方の志向を考慮した選択を行っている。その人らしくここでの生活を楽しんで頂けるように努めている。	理念である本人本位を尊重し、服の選択など本人に決定してもらっている。選挙の投票を希望する利用者の思いを受け止め、家族同行で投票に行く支援をしている。思いが伝えられない利用者には選択肢をいくつか用意するなど把握の仕方の工夫にも取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居者様のこれまでの生活歴をご家族様からしっかり聞き出し支援の向上に努めている。また、入居者様自身からお話をする中でこれまでの生活歴の把握を行い、サービスの向上に活かせるように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	朝礼や、夕方の申し送り、職員間ノートによる情報の伝達、データベースによる記録から情報の共有を行い、一人一人の状況が常に把握が出来るように努めている。		

自己評価	外部評価	項目( 1F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人様の現状を把握し、家族、ケアマネジャー、職員、他職種との連携も取りながら意見交換を通して、その方にとって必要な支援を見つけて、その方のための介護計画を作成している。計画の見直しについては、変化があれば変更を行い、反映をさせている。</p>	<p>事前に月1回のユニット会議で目立ってよくなってきた様子や少し低下した気づきなどを検討課題として、担当職員が利用者の情報をケアマネジャーに提供し、家族、他の職員と意見交換をし、現状に即した介護計画を作成している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>普段と様子が違うと感ずることがあれば、記録に残すように努めている。そのため生活行動記録には、些細なことも情報を入力して記録に残している。記録は実践や介護計画の見直しに反映させている。</p>	/	
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>他職員や、他職種の連携を取り、入居者様に必要なサービスを提供しているように取り組みをしている。</p>	/	
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>支援学級の職場体験や、ボランティアの方を通じて地域の方々とのつながりをこれからも大切にしていきたい。ただ、現況はコロナ禍の影響もあって思うように取り組めれていない。</p>	/	
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>契約の同意を得て、内科・訪問歯科・心療内科・皮膚科は協力医に往診してもらっている。そして何か異常があれば常に相談・報告を行っている。医療についての記録は医療ノートを作成して連携を取っている。その他の専門科の受診はご家族様が対応してもらっている。そして必ず、協力医への情報提供は行っている。</p>	<p>利用以前からのかかりつけ医を受診する利用者が現在いるが、家族、利用者の希望は大切に受け止め支援し、協力医とも連携を取り合っている。利用者ごとに治療経過や服薬関係を記録した医療ファイルを緊急時には持参して情報提供して支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目( 1F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	毎週月曜日に定期で訪問看護師が訪問に来ている。その際、利用者様の些細な変化も訪問看護に報告・相談行っている。何かあれば、ドクターに報告して指示を受け対応を行っている。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時はサマリを持参し情報提供を行っている。退院時はカンファレンスを行いADLの変化や食事形態の変化の情報共有を行っている。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	契約時に「重度化した場合の指針」を提示し、内容を説明したうえで家族様より同意を得ている。また、特別な場合であればご家族とのカンファレンスも行い、終末期のことを検討することも行っている。	終末期近くには職員全員で看取りのプランを作っている。容態の変化の都度家族の意向、医師、管理者、職員で今後の方針を話し合っ対応している。家族は同室で付き添うことも可能である。看取りの研修も年間計画に導入され行われている。	
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時対応マニュアルを作成し目の付く所へ掲示してある。事前に連絡方法など対応に対する注意を行い周知している。		
35	13	<b>○災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	ハザードマップや年2回行っている防火・防災訓練等で避難経路を再確認している。地域との協力体制は取れていない。	ホームの近くに河川があるため、水害対策の訓練を行っている。日中、2階に垂直避難する所要時間は8分だったが、今後は夜間想定訓練も必要と準備体制を整えている。コロナ禍で地域交流もできず、今後は開かれたグループホームとして地域と協力体制を築く取り組みを行っている。	

自己評価	外部評価	項目( 1F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	入居者様への尊敬の念を持ち、その人らしい生活が送ってもらえるように努めている。言葉遣いにも気を付けるように努めている。ケアに対してもその人のプライバシーに十分に配慮を行うように努めている。	誇りやプライバシーを損ねないための接遇の研修を行っている。指示語を避け、「何々してもらえますか」などの表現を使用するようにしている。入浴の待ち時間などタオルを掛けるよう尊厳にも配慮し対応している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	食べたい物、したい事を出来るだけ聞き出し、本人様に「したい、したくない」「好き、嫌い」に配慮した支援を行う。ご本人様の思いに沿えるよう支援出来るよう努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	出来るだけそれぞれのペースを大切にしよう心掛けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	お化粧品や髭剃り、お気に入りの服の着用、本人様の身だしなみや、おしゃれが出来るよう毎日、支援を行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	普段の食事は配食された食事を提供しているため機会は多くないが、行事食の時等にそれぞれの出来る事、例えばカット・味付け・盛り付け等、できることは一緒に行っていたくようにしている。日常では、お盆拭きや食器拭き、テーブル拭き等を行ってもらっている。	お花見など弁当を用意する際は、カタログを見ながらみんなで選び、楽しんでいる。お寿司やそうめん、クリームシチューやチキン、おはぎなど行事食やおやつ作りも利用者の要望を聞き、職員と一緒に、利用者それぞれの特技を活かしながら準備をしている。	

自己評価	外部評価	項目( 1F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>栄養士の指示のもと、配食センターより食事が届き、食事を提供している。毎食の食事量や水分量はしっかり記録管理を行っている。食事の仕方が分からない方には声掛けにて食事することを促し、自力で摂取するのが難しい方には、一部介助にて食事を摂って頂くよう支援している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>歯科医の指導のもと口腔ケアを適切に行っており、必要であれば磨き残しがないように支援することを行う。できるだけ利用者様の残存機能を生かしながらできないところだけ手伝うようにケアを行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>日中はリハパンから布パンに更新したり、排泄パターンを考慮した声掛けを行い、排泄の失敗を減らすように努めている。出来る限り職員の見守りにて自力にて排泄が行えるよう支援している。</p>	<p>利用開始時はリハビリパンツだったが職員の話し合いや声掛けによって布パンツに改善された利用者が直近では3名いる。夏は蒸れなど本人負担を減らすためと家族のおむつ代の負担を減らすためにも布パンツの自立支援に取り組んでいる。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>水分摂取の促し、便秘ぎみなら牛乳を提供するなどの支援を行っている。排便がでない日が続けば、主治医指示のもと配薬による排便コントロールを行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>曜日や時間帯などに応じる事が出来ないように思うが、本人様が着たい洋服や準備など、職員と一緒にしようとしている。また、バスソルトをご家族様が手作りされている方もおり、それを使用し、楽しんでいただいている。</p>	<p>富士山の壁画のある風呂場で、昭和の雰囲気を楽しんでいる。同性介助の希望にも配慮している。入浴を好まない利用者には声掛け、歌などで気分が良くなるよう工夫し取り組んでいる。介助が必要な利用者には安全に入浴できる浴槽を用意し、入浴を楽しめるよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目( 1F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<b>○安眠や休息の支援</b> 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	居室の明るさや、室温、ベッドの高さ、臭い等の住環境に注意を払いながら、安心して休んでいただけるよう支援している。		
47		<b>○服薬支援</b> 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬剤師指導のもと服薬の支援を行っている。時には利用者様の症状に合わせた服薬支援を行う場合もあり、常日頃から入居者様の状態観察を行っている。		
48		<b>○役割、楽しみごとの支援</b> 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	歌や体操、おやつ作り、レク活動、日々のお手伝いなどで入居者様に役割を担って頂き、ここでの生活を楽しく過ごしていただけるよう支援している。		
49	18	<b>○日常的な外出支援</b> 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	昨年と同様、コロナ禍の影響で現状、病院受診を除く外出は出来ていません。	以前は近隣の公園やホームの周りを散歩したり、菊花展、花見など外に出る機会も多くあった。コロナ禍で以前のような外出は難しくなったが、朝のごみ出しや洗濯物を戸外に干す手伝いなどを職員と一緒にやり、外出不足を補う支援をしている。	
50		<b>○お金の所持や使うことの支援</b> 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	現状ではお金を使うことへの支援は行っていません。		

自己評価	外部評価	項目( 1F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>日中であれば、ご家族様との電話を希望されれば電話が出来るよう支援をしている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>季節に応じた飾りつけを行い、季節を感じていただけるように工夫している。そして、壁には行事の写真などの展示を行っている。又、トイレ場所やご自身の居室が分かりやすくなるよう工夫に努め、利用者様が不安にならないよう支援している。</p>	<p>廊下には季節ごとの行事の飾りつけや日常生活の折々の写真を貼り居心地の良い空間となっている。トイレの前には間違えないようトイレ表示のシールが貼ってある。エアコンの風が当たらないよう食事の席にも配慮している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>廊下に椅子を置いたりして、歩行訓練時休めれるようにしている。また、リビング内にはテレビを2カ所設置して、フロア内のどこからでもテレビが見えるようにしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>本人が使用されていた馴染みの物(家具・置物・写真等)使用して頂いている。居室の掃除は基本、毎日行うようにして、シーツ交換も定期的に行って居心地よく過ごしてもらえるように努めている。</p>	<p>居室は各部屋壁紙、カーテンの色など替えて間違えないよう配慮がされている。畳仕様フローリングの部屋も設置され、畳になじんでいる利用者に配慮している。湿度管理に加湿器の他、濡れたバスタオルを毎日居室に置いている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>共同トイレの場所やリビング等が分かりやすいように大きく案内が貼ってあり、居室の入り口にはご自身の部屋だと確認できるよう顔写真を貼ったりしている。</p>		

V アウトカム項目( 1F ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目( 2F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	理念に基づいて入居者様の尊厳を大切に安心した心地よい暮らしができるように努めている。ただ、コロナ禍において入居者様の外出機会はほとんどなく地域密着型サービスとしては役割りは果たされていない。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	コロナ禍の影響もあり入居者と家人との面会すらほとんどできていない状況が続いている。なので地域との交流は実施できていない。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の方々を対象とした認知症や介護の相談窓口はあっても、地域の方々には周知されているとは言えない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	コロナ禍の影響で今年一度も行っていない。市への中止報告のみFAXにて行っている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議が開催されていないこともあり市の担当者様と日ごろから連絡は取り合っていない。		

自己評価	外部評価	項目( 2F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	定期的に身体拘束についての研修や勉強会を行っている。身体拘束をすることによって、高齢者にどのような弊害があるか理解したうえで身体拘束を行わないケアに努めており、毎月のミーティングで車イスやセンサーマットの使用が適切であるかどうかも検討している。		
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	定期的に勉強会や研修を行っている。高齢者虐待に関する研修を通じて、普段から職員が不適切なケアを行わないよう注意を促し、虐待防止に努めている。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	入居者様の生活の質の向上を目指し、研修等を通じて権利擁護についての知識と理解を深めそれらを活用できるよう入居者様と関わっている。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約の際等はお入居者様やご家族様に対して十分な説明を行っており、途中で疑問に思われた事や意見等に対して誠意を持ってお答えし対応している。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	入居者様や家族様からのご意見はカンファレンスを通じて職員間で共有、議論し可能な限り要望に応じられるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目( 2F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	年2回の管理者との個人面談の機会を設けている。毎月の会議でも個々の意見を聞くようにし業務に反映させている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員の意見や、思いを言いやすい環境に努めている。問題が起きた場合等には早急に対応できるように努めている。又、直接、上長に思いが届くように意見箱を設置しており、職場環境の向上への対応を行っている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	半年ごとに個人評価シートを使用し、目標設定・目標達成度の評価を行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	同業者との交流する機会は地域包括主催の勉強会に参加するなどして交流を行っている。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居者様の情報を職員間で共有してグループホームでの生活に一日でも早く慣れていただけるよう、努めている。		

自己評価	外部評価	項目( 2F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居時に家族様の要望等を伺い、出来る限り応じられるよう努める。入居者様一人一人に担当職員をつけ、連絡事項や日々の様子等を伝えて信頼関係を築くよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入居者様とご家族様のニーズをしっかりと把握し、必要に応じた対応をするように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	グループホームが共同生活の場である事も説明しつつご自身で出来る事は可能な限りやって頂き自立支援を念頭に良い関係を築けるように心掛けている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	コロナ禍において、ご家族へは施設内への立ち入りを、現状お断りしている。ただ、ご家族様への連絡は密に行い、入居者様の支援に努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご家族様と情報を共有しながら、馴染みの人や場所への支援をお願いし、出来る範囲で協力をしている。		

自己評価	外部評価	項目( 2F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	入居者様が孤立しないように定期的に席替えを行い、孤立しそうな時には職員が間に入り話を聞き孤立することなく良好な関係が築けるように努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	現時点では退去後にご相談や支援は行っていない。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	自己選択・自己決定という、入居者様の意思を尊重し、職員本位の支援を行わないよう配慮している。入居者様のレベルが低下した場合であれば、その方の志向を考慮した選択を行っている。その人らしくここでの生活を楽しんで頂けるように努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	アセスメントや入居者様・ご家族様からの情報をもとに把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	朝礼や夕方の申し送り生活記録をIpadで管理して情報共有し把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目( 2F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>入居者様・ご家族様・職員・他職種の意見等をもとにケアマネージャーを中心にその方にとって必要な支援を見つけて、その方のための介護計画を作成している。計画の見直しについては、変化があれば変更を行い、反映をさせている。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>体調変化や感情変化等変ったことや些細なことまで全て生活記録に残し実践や介護計画の見直しに反映されている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>他職員や、他職種の連携を取り、入居者様に必要なサービスを提供しているように取り組みをしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>支援学級の職場体験や、ボランティアの方を通じて地域の方々とのつながりをこれからも大切にしていきたい。ただ、現況はコロナ禍の影響もあって全く出来ていない。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>契約の同意を得て、訪問歯科・内科・心療内科・皮膚科・循環器科は協力医に往診をしてもらっている。そして何か異常があれば常に相談・報告を行っている。その他の専門科の受診はご家族様に対応してもらっている。そして必ず、協力医への情報提供は行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目( 2F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	毎週月曜日に定期で訪問看護師が訪問に来ている。その際、利用者様の些細な変化も訪問看護に報告・相談行っている。何かあれば、ドクターに報告して指示を受け対応を行っている。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時はサマリを持参し情報提供を行っている。退院時はカンファレンスを行いADLの変化や食事形態の変化の情報共有を行っている。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	契約時に「重度化した場合の指針」を提示し、内容を説明したうえで家族様より同意を得ている。		
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時対応マニュアルを作成し目の付く所へ掲示してある。事前に連絡方法など対応に対する注意を行い周知している。		
35	13	<b>○災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	ハザードマップや年2回行っている防火・防災訓練等で避難経路を再確認している。地域との協力体制は取れていない。		

自己評価	外部評価	項目( 2F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	入居者様の人格を尊重し、声掛け等にも注意をしている。また、社内研修などを通じて尊厳に配慮している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	食べたい物、したい事を出来るだけ聞き出し、本人様に「したい、したくない」「好き、嫌い」に配慮した支援を行う。自己決定できるような声掛けを行うよう努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	業務優先になってしまうこともあるが、出来る限り希望に添えるように努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	お化粧品や髭剃り、お気に入りの服の着用、本人様の身だしなみや、おしゃれが出来るよう毎日、支援を行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	行事食の時などは盛り付けや食材を刻んでもらったりしてそれぞれが出来ることを手伝ってもらっている。		

自己評価	外部評価	項目( 2F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>栄養士の指示のもと、配食センターより食事が届き、食事を提供している。毎食の食事量や水分量はしっかり記録管理を行っている。食事の仕方が分からない方には声掛けにて食事することを促し、自力で摂取するのが難しい方には、一部介助にて食事を摂って頂くよう支援している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、口腔ケアを行っている。また訪問歯科医の指導のもと口腔ケアを適切に行っており、必要であれば磨き残しがないように支援することを行う。できるだけ利用者様の残存機能を生かしながらできないところだけ手伝うようにケアを行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>個々の排泄パターンを把握して個別に対応している。定期的なトイレ誘導を行っている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>水分摂取の促し、便秘ぎみなら牛乳を提供するなどの支援を行っている。排便がでない日が続けば、主治医指示のもと配薬による排便コントロールを行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入浴表のもと週2回の入浴を実施。体調不良の日等は柔軟に対応しているが、入浴時間や曜日などは入居者様の希望には添えていない。</p>		

自己評価	外部評価	項目( 2F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>安心して休んでもらえるよう入居者様の希望に添えるよう支援している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>医療ノートを利用して薬の変更についても必ず申し送りなどで職員間で共有している。副作用については各自で把握はしているが皆が把握できているわけではない。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>洗濯干しやたたみ、お盆拭きなど出来ることを役割として提供している。楽しみとしては毎日午後から1時間程度レクリエーションや歌、体操などを行っている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>昨年と同様、コロナ禍の影響で現状、病院受診を除く外出は出来ない。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>一部の方のみ所持されており金銭の監理もご自分でされている。その他の方は支援は行っていない。</p>		

自己評価	外部評価	項目( 2F )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>携帯電話を持参されている方は自由に使用されている。ご家族様との電話や手紙を希望されれば、できるように支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>季節に応じた飾りつけを行い、季節を感じていただけるように工夫している。又、トイレ場所やご自身の居室が分かりやすくなるよう工夫に努め入居者様が不安にならないよう支援している。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>廊下の日の当たる場所に椅子を置き日光浴したり歩行訓練時休めれるようにしている。また、リビング内にはテレビを2カ所設置して、フロア内のどこからでもテレビが見えるようにしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入居時に使い慣れたタンスや馴染みのある物を持って来ていただき安心して暮らしてもらっている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>完全バリアフリーで、共同トイレの場所やリビング等が分かりやすいように大きく床に案内が貼ってある。居室の入り口にはご自身の部屋だと確認できるように顔写真を貼ったりしている。</p>		

V アウトカム項目( 2F ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム桃太郎

作成日 令和3年12月15日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	コロナ禍もあって運営推進会議を活用した取り組みができていない。	コロナ禍もひとまず落ち着いているため、運営推進会議を再開し活用できるように取り組む。	まずは運営推進会議を再開する。開催されていない間に利用者も何人か替わっておられるので新たな交流を持ってもらう。	1年
2	2	コロナ禍以前から事業所と地域の付き合いがほとんどない。地域資源の活用が不十分である。	前年に掲げた社会福祉協議会との取り組みに参加できていないのでコロナ禍次第だが参加を試みる。	社会福祉協議会との繋がりを構築する。	1年
3	35	ハザードマップはあるが水害に対する訓練は行われていない。	年2回の防火訓練とは別に水害に対する訓練を行う。	防火訓練とは別に水害への訓練も加えて、いざという時への対応ができるようにする。	1年
4	5	コロナ禍もあって市、区との連携、協力体制を築けていない。	市、区の担当者と日ごろから連絡が取れる関係を築く。	市、区の窓口担当に会いに行き、今後協力体制が築けるようにする。	1年
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。